

令和7年度スマートグリーンハウス人材育成研修



農林水産省「令和7年度スマートグリーンハウス展開推進」

一般社団法人日本施設園芸協会×大阪公立大学植物工場研究センター 共催

【講義】第4回 12月19日（金）

「植物工場の未来と物質循環」

施設園芸におけるスマート化の今後の展開について、資源循環的な視点を取り入れながら考えます。

1) 13:00～14:15 施設園芸・植物工場の今後の展望



児島 貴郎（農林水産省 農産局 園芸作物課 花き産業・施設園芸振興室 課長補佐）

施設園芸・植物工場は環境等のモニタリングに基づく環境制御により、季節や天候に左右されずに野菜等を計画的かつ安定的に生産できる栽培施設です。本講義では、施設園芸・植物工場の動向や今後の展望、植物工場の整備に当たり留意すべき規制等についてお話しします。

2) 14:25～15:40 植物工場におけるアクアポニックスの応用とスマート技術の未来



遠藤 雅人（東京海洋大学 学術研究院 海洋生物資源学部門 准教授）

アクアポニックスは、魚介類養殖の廃棄物を植物栽培の肥料として利用する物質循環型食料生産技術です。今回は植物工場におけるアクアポニックスの応用とスマート技術の導入に向けた取り組みについてご紹介します。

3) 15:50～17:05 スマートグリーンハウスにおける有機性残渣利用の可能性



遠藤 良輔（大阪公立大学大学院農学研究科 講師）

メタン発酵などのバイオマス転換技術は、非可食部のような有機性残渣をエネルギーや肥料などの資源に転換できるため、低炭素や低環境負荷に寄与すると期待されています。本講義では、本技術のスマートグリーンハウスへの適用について、展望や課題とともに概説します。

- 会場：大阪公立大学植物工場研究センター 中百舌鳥キャンパス C21棟2階
※オンライン受講も可能。
※一部の講義は開催後に録画配信を予定。詳細はご案内のホームページをご参照ください。
- 参加費：10,000円/1日
- 申込締切日：12月12日（金）
- 詳細案内、お申し込みは、大阪公立大学植物工場研究センターのホームページをご参照ください。
<https://omu.info/pfc/>



ご参加をお待ちしております！

セミナーお申込みの流れ

大阪公立大学植物工場研究センター（PFC）で開催するセミナーの一般的な受講の流れです。
お申込み前に必ずご確認ください。

お申込み

1. PFCのホームページのセミナーの案内ページ内「申込フォーム」ボタンからアクセスし、必要事項をご記入の上、送信してください。インボイス対応請求書の要否もお知らせ下さい。
2. 受付完了の自動返信メールが届きます。
※自動返信メールが届かない場合はPFC事務局へお問い合わせください。

インボイス対応請求書が不要な場合

振込先ご連絡

3. 事務局より振込先をご連絡します。

インボイス対応請求書が必要な場合

請求書送付

3. 本学の取引先として請求書情報を確認／登録の上、事務局より請求書をお送りいたします。

お振込み

4. 各セミナーの申込・振込期限までに指定の口座へ参加費をお振込みください。
参加費は各セミナーの案内リーフレットまたはHPでご確認ください。

- ・誠に勝手ながら、振込手数料をご負担いただきますようお願い申し上げます。
- ・金融機関振込時に発行される振込明細書等をもって領収証書の発行に代えさせていただきます。
領収証書の発行はしませんのでご了承ください。
- ・参加費入金後の返金はいたしかねます。

個人情報について： お申込みの際の個人情報は、申込み後の事務連絡、統計資料等の作成およびセミナーのご案内に使用いたします。
利用目的以外の使用はいたしません。

受講案内

5. 開講日の3日前～前日までに申込フォームへ記載されたメールアドレス宛に受講の案内をお送りします。

来場形式の場合

日程と来場の際の注意事項などを送ります。

オンライン形式の場合

日程とオンラインの詳細（ZoomのID・PW等）を送ります。

キャンセルについて： お申込みの後に受講できなくなった場合は、PFC事務局へ必ずご連絡ください。
なお、参加費をお振込み後の返金はいたしかねます。

当

日

6. お申込時に選択した参加方法、もしくは各講座で指定された方法でご参加ください。

来場形式の場合

各講座で指定された会場へ直接お越しください。

オンライン形式の場合

メールに記載のリンク等からオンライン講座にご参加ください。

カリキュラムについて： 本年度のカリキュラムは、一部、オンライン形式の講義のみへの変更または中止となる場合があります。ご了承ください。

PFC
R&D Center for Plant Factories, OMU

